

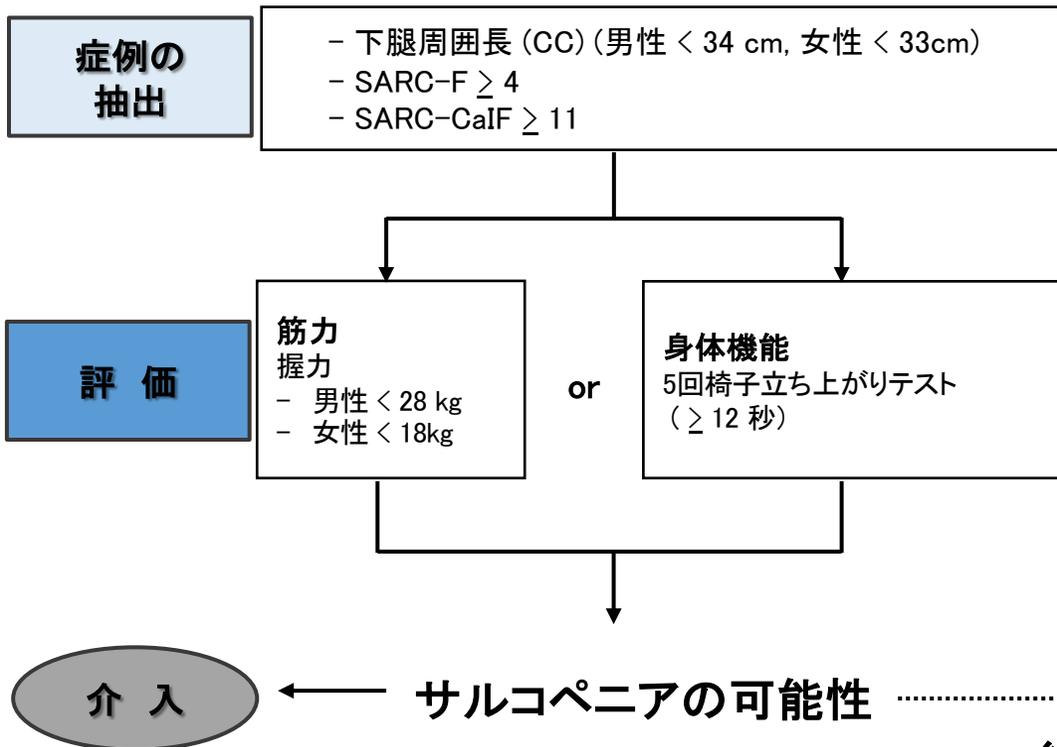
サルコペニア診断基準の改訂（AWGS2019 発表）

AWGS の診断基準が 2019 年 10 月 24 日改訂されました。論文は J Am Med Dir Assoc に in press となっていますが、改訂内容をいち早く会員の皆様にお届けします。

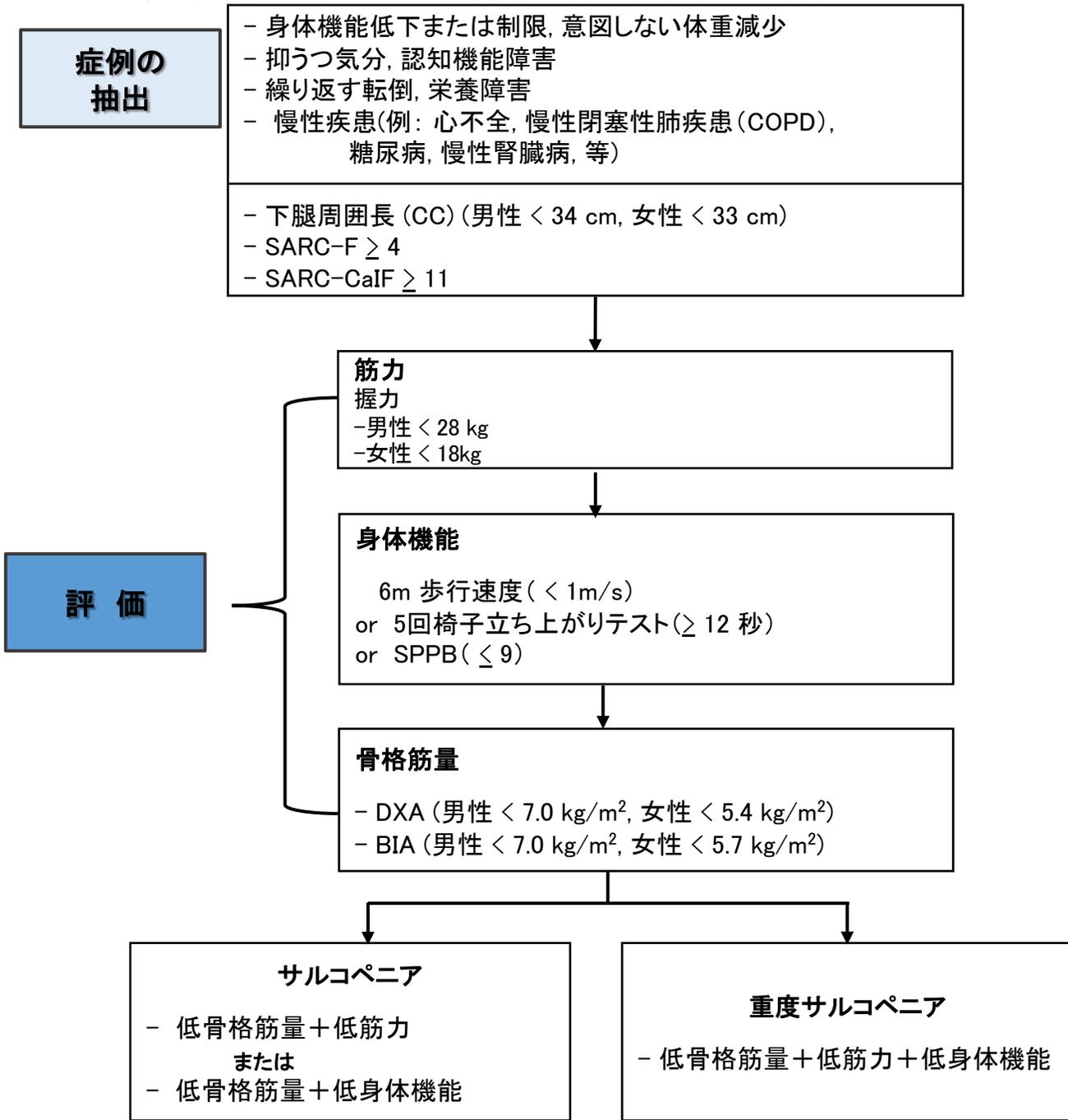
今回の改訂については、11 月 9 日に新潟市で開催された第 6 回の学会大会で発表させていただきましたが、図に示すように、DXA や BIA がない施設においても、症例抽出と握力、5 回椅子立ち上がりを行うことでサルコペニア（可能性あり）と診断できることになりました。また、確定診断についてはこれまでと基本的な考えは変わっておりませんが、歩行速度の代わりに 5 回椅子立ち上がりや SPPB を用いることも可としています。また、握力の基準が男性 28kg 未満となり、前回に比べ 2kg 基準が引き上げられ、女性は 18kg 未満と AWGS2014 のままです。歩行速度の基準も 1m/秒未満となり、変更となっております。できるだけ新しい基準を使った診断を進めていただき、可能な範囲で介入を行っていただくようお願い申し上げます。

令和元年 11 月 11 日
日本サルコペニア・フレイル学会
代表理事 荒井秀典

一般の診療所や地域での評価



装備の整った種々の医療施設や研究を目的とした評価



AWGS2019によるサルコペニア診断基準
Chen LK, et al. J Am Med Dir Assoc, in press

紹介